

新春対談 NPO団体 MURP × 西東京市 市長 池澤 隆史

地域活動を通じて平和につなげる

MURPの4人の中心メンバーに地域活動の思いを語っていただきました。



MURP 創設者 うえの りゅうたろう 上野 隆太郎さん

自分たちが楽しむことが最も大切



なぜ、MURP を始めようと思ったのか、きっかけを教えてください。

一昨年、新柳沢団地自治会の役員の方から「3年ぶりに夏祭りをやることになったが、若者が少ないから一緒にやらないか」と当時の私のゼミに声を掛けていただいたことがMURP発足のきっかけです。夏祭りではゼミ生だけでなく、大学の後輩たちにも声を掛け、夏祭りの担い

手として参加しました。その後、ゼミ生が4年になって卒論の準備が始まり、活動が難しくなりましたが、後輩たちを中心に「地域活動は継続しないと効果が出ない」という意見が上がり、MURPを設立しました。**活動の中で最も重点を置いていることは何ですか。**

私たちの活動で重点を置いていることは「自分たちが楽しむこと」ですね。MURPのミッションは「人と人をつなげること」「人と地域をつなげること」など複数ありますが、継続して活動するためには自分たちのためになったり、成長につながるなどプラスの気持ちになれないといけないと思っています。本年よりMURPは代表として新たに勝田が就任し活動していきますが、今後は私自身熱意を絶やさないようにしながら、若者と地域をどうつなげていくかをテーマに活動を続けていきたいと思っています。

地域に溶け込む姿勢が見える

イベントの会場でMURPの皆さんによくお会いします。自分たちのイベントだけでなく、ほかの会場でもお見かけする機会も多いですね。本当に地域に溶け込んでいると感じています。



池澤市長から

MURP 代表 かつた ななみ 勝田 菜々美さん

人と人とのつながりが濃いのが西東京市の魅力

活動を通して西東京市の魅力はどんなところにありましたか。

西東京市は人と人とのつながりが濃密だなという印象ですね。私たちは新柳沢団地を中心に活動していますが、たくさんの方に協力していただいたり、むしろ「やっていただけませんか」とお声を掛けていただいたりと、地域に住んでいる人たちが積極的に地域活動を行っているというのが西東京市の魅力的なところだと思います。

若い人に西東京市の市政や地域活性に興味を持ってもらうためには、何が必要だと思いますか。

私自身は最初から地域福祉や地域活動に興味を持っていたわけでは



なく、児童福祉に興味がありました。ただ、MURPに入って活動する中で地域に興味を持つようになって、視野が広がったと実感しています。私の場合、MURPに入ったことがきっかけでしたが、同世代の人もきっかけ作りをすることで行動が変わったり、視野が広がったりするのではないのでしょうか。

昨年1年で、一番印象に残った活動を教えてください。

私が最も印象に残っているイベントは、昨年9月に開催した「ユメバルーンを夜空へ。」ですね。団体として一番規模の大きなイベントだったことや私自身がこの企画の担当だったことから、とても印象に残っています。たくさんの方に喜んでいただけたことが嬉しかったです。



池澤市長から

やさしさとふれあいが市の基本理念

西東京市は誕生して約20年になるのですが、「やさしさとふれあい」を基本理念として大切にしてきました。市民の皆さんのつながりが濃密なもの、その結果だと思います。